

金沢大学附属図書館環境行動計画

平成24年5月1日

金沢大学環境方針

環境基本理念

金沢大学は、総合大学のもつ多様性を個性的に発揮することで、21世紀の時代を担う有為な人材の育成と知の創成に努めることとしている。地域における知の拠点である本学が、このような目的をもって教育・研究・診療・社会貢献等の活動を推進するために、将来の世代と地球に対する責任を自覚し、人間と自然との調和・共生を柱とした環境方針を掲げるものとする。

基本方針

- 1 金沢大学は、本学が実施するあらゆる活動において、環境問題を意識し、環境保全に貢献する人材の育成と研究の推進に努める。
- 2 金沢大学は、本学が実施するあらゆる活動において、環境に関する法規・規制・協定等を順守する。
- 3 金沢大学は、本学の活動が環境に及ぼす影響を調査・分析し、化学物質の安全管理、廃棄物の処理、資源・エネルギーの使用量削減や再利用・再資源化等に積極的に取り組むことにより、環境負荷の低減に努める。
- 4 金沢大学は、環境に関わる知的成果を含むあらゆる情報を社会に還元・公開し、環境問題に対する啓発と普及に努める。
- 5 金沢大学は、以上の環境方針を実現するための総合的なマネジメントシステムを構築し、継続的に目的・目標を定め、全ての大学構成員が協力して、その達成に努める。

2010年4月1日

金沢大学長

中村信一

附属図書館環境方針

金沢大学附属図書館は、金沢大学環境方針に加えて、「環境問題に関する見識を備えた人材の養成」を資料や情報面からサポートすることとする。そのために以下の事項について更に進めるものとする。

- 1 環境学コレクションの整備による本学環境教育の支援及びユネスコスクール等を通じた地域の小中学校への情報提供を行う。
- 2 環境問題への取り組みを、数値として表わすことを工夫する。
- 3 附属図書館の取組を全学の取組として模範となる行動に心掛ける。

この方針に基づいて職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成24年5月1日

金沢大学附属図書館

館長 柴田 正良

3 環境負荷の低減目標

平成25年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりである。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも平成23年度。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を基準年以下に削減する

基準年の総排出量	393109 (kg-CO ₂)
----------	------------------------------

【目標2】 産業廃棄物の排出量を基準年以下に削減する

基準年の排出量	1.34 (t)
---------	----------

【目標3】 コピー用紙の使用量を基準年以下に削減する

基準年の使用量	1068.73 (kg)
---------	--------------

【目標4】 水使用量を基準年以下にする

基準年の使用量	5889.39 (m ³)
---------	---------------------------

【目標5】 グリーン購入を徹底する

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 業務効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月初めに、担当者による現場点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 職員による環境への取組について提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

情報部長を部会長とする環境活動部会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックする。